

あなたなら きっと できる!

Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第5号 令和5年9月1日 発行

問合せ先: sinnro-soudan@ohmiya-sd.spec.ed.jp

前号でお知らせしました「中学部1〜4組生徒のカフェ体験」ですが、その後、スターバックス土呂店では、この取り組みの様子をまとめた『お知らせボード』を飾ってくれました。写真やお礼の手紙も提示されました。

スターバックス土呂店では、今夏、高等部生が現場実習をしたり、専攻科生がアルバイトを始めたりしています。

スターバックスでは、聴覚障害者が利用しやすいように、指で注文する「オーダーシート」を工夫したり、手話でコーヒーを楽しむ「手話セミナー」を開いたりしています。

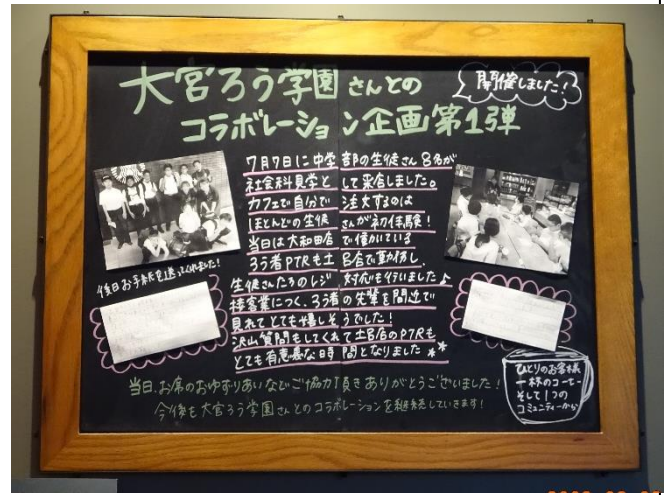
スターバックス土呂店とステラ店には、手話ができるスタッフがいます。そして、大和田店には、今年で6年目になる、卒業生のMさんが働いています。

今回の「カフェ体験」も、彼女が誠実に働き続けてきてくれたおかげで、実現できたことでした。

土呂店・大和田店・ステラ店。

学校の近くにあるスターバックス3店と連携しながら、これからも進路に向けて様々な取り組みが工夫出来たら良いと思います。

→ 大宮ろう学園とのコラボ企画 第1弾



職員施設見学会報告

7月28日(金)に「マルイキットセンター」、8月4日(金)に「ワークステーションみらい」の見学に行きました。



マルイキットセンターは、(株)丸井グループの特例子会社で、丸井の営業店およびグループ会社で使用される伝票等の管理・出荷を担う「用度品業務」、商品の検品・出荷を担う「商品検品業務」、社員証や名刺・パンフレットの印刷を担う「事業サービス業務」の3業務があり、聴覚障害者や知的障害者が、コミュニケーションを工夫しながらチームを組んで働いていました。それぞれの業務には、サポート体制があり、意欲をもって働き続けることや、さらに上を目指すようなチャレンジを支援してくれているそうです。本校卒業生も数名が、それぞれの業務を真剣にこなしていました。結婚し子育てしながら働いている卒業生の姿に感動しました。在学時代を思い浮かべ、在学している間に、学校では、どんな力を育てていくべきなのか、改めて考えさせられました。

ワークステーションみらいは、社会福祉法人済生会の就労継続支援A型の施設で、済生会の各病院から運ばれてくる洗濯物を仕分けし・洗濯・乾燥・アイロンがけ・整頓・管理・たたみ・包装までを担っています。業務用の大型アイロンは高温の蒸気を出します。見学当日は猛暑日だったため、説明を受けている間も、汗が噴き出てきました。高温多湿の中、17度に設定されたエアコンでも涼しさは感じられませんでした。夏は大変な仕事です。卒業生2人は、仕事→休憩→仕事という流れをしっかりと把握していて、仕事は真剣に、休憩はゆったり楽しんでいました。技術を身に着け一般就労を目指す人もいれば、ここで仲間と楽しく働きたいと思う人もいます。自分の働き方を自分で決められるように、主体的に働く意志が尊重されていると感じました。

今回の施設見学会を通して

働く場で仲間と関わり合い、豊かに生活する姿を見て、社会に出る事が学校生活のゴールではない事と、社会に出てからも成長したいと思える人材を育てることの大切さを実感しました。

